

審査基準表

(別紙1)

審査項目		審査基準	配点
1 全体事項			
1-1	事業目的の理解	事業目的の正しい理解に基づいた提案となっているか。	20
1-2	業務実績等	・類似業務の業務実績があり、得られた知見を本業務に活かす提案となっているか。 ・行政情報システムや仮想化技術など、当該事業を実施するために必要な専門的知識や情報を有しているか。	
2 必須事項			
2-1	本県システムの調査・分析	・情報収集を効果的、効率的に行う工夫があるか。 ・抜け、漏れがあった場合のリカバリーの考え方が妥当であるか。 ・役割分担が妥当であるか。	80
2-2	パターン別の機能比較等	・比較項目や分析手法が充実しており、本県の判断を支援する内容となっているか。 ・経費積算の精度を上げる工夫があるか。	
2-3	次期基盤の基本設計	・公平性の確保や品質および設計精度の向上を図るための工夫があるか。 ・コスト低減を実現するための方針が妥当であるか。	
2-4	次期基盤への移行計画書作成等	・業務システム保守業者の理解を深める工夫があるか。 ・移行費用の妥当性を評価するための手法が妥当であるか。	
2-5	次期基盤の調達仕様書等作成支援	・要件を網羅するための具体的な方針が示されているか。 ・R F I 実施のポイントと結果を仕様書等に反映する際の留意点が分かり易く整理されているか。	
3 提案事項			
3-1	設計全体に関すること	・専門的な知見に基づき課題を的確に捉えているか。 ・実現するための設計方針が妥当であるか。 ・利用期間についての考察に明確な根拠が示されているか。	60
3-2	共同利用等に関すること	・将来の共同利用やクラウド利用を実現するための設計方針が明確に示されているか。 (柔軟な構成変更や拡張を容易とするシステム構成)	
3-3	統合効果の最大化に関すること	・統合の費用効果の最大化を目指す設計方針が示されており、実現可能性が高い内容となっているか。	
3-4	運用の設計に関すること	・県民および職員に安定したサービスを提供するために必要な事項が整理されているか。 ・費用対効果を高める設計方針となっているか。	
4 実施体制等			
4-1	実施体制・スケジュール管理	・プロジェクト管理者は豊富な実績を有しているか。 ・柔軟性や即応性を有した現実的な業務実施体制が提案されているか。 ・プロジェクト管理に関する適切な提案がなされているか。 ・無理のない合理的な作業スケジュールが提案されているか。	30
4-2	秘密保持と公平性の確保	・情報管理の徹底が図られる提案となっているか。 ・公平性を確保し、競争による品質の向上とコスト低減を図る工夫があるか。	
技術点合計			190

見積金額による価格点

審査項目	審査基準	配点
本業務にかかる見積金額について	【(1-見積金額/上限金額) × 10】	10
価格点合計		
		10
技術点と価格点の合計		
		200